

施設空間コンセプト

多様な価値観、多様な活動、多様な出会い、それらは自身の視野を拡げ人生を豊かにすると同時に良好なコミュニティ形成を誘発します。

図書館、博物館、公民館の諸室や諸機能を人々の活動や行為に着目し、マナビバ／カタリバ／タマリバ／ミセバ／ツクリバ、5つの場に整理します。基本構想に示された5つの活動方針は、この5つの場で分散的かつ重層的に展開します。それらを下記の5つの計画アイデアにより再配置し、この複合施設ならではの多様な融合を図ります。

《計画アイデア1 | 人に寄り添う》

大熊町の特殊性を踏まえ、建築の有り様をワークショップの積み重ねから導き出す。基本構想の理念「リアルとデジタル」を実現すべく、全ての利用者の視点に立ち情報環境と建築空間の連動をめざす。

《計画アイデア2 | 空間の多様性と連続性》

空間内に5つの場を分散的かつ重層的に配置し、利用者のさまざまな居場所を提供する多様性と、融合された諸機能の連続性に配慮した計画とする。

《計画アイデア3 | 抑えられたボリューム感》

広がりのある前面の芝生広場とのつながりに配慮し、建物のボリューム感を抑え、低く感じられるデザインとする。

《計画アイデア4 | 管理しやすい一体性》

少ないスタッフでも管理しやすい視認性の良さ、明快な機能配置、わかりやすい動線計画など、施設の一体性に配慮した計画とする。

《計画アイデア5 | ユニバーサルデザイン》

全ての利用者に配慮されたユニバーサルデザインを前提に、バリアフリーに配慮した計画とする。

以上の計画アイデアを念頭に大熊町やWSを通じてのご意見やご要望を柔軟に取り入れ、長期に渡り地域や世代を超えて人と共に成長し続け、わたしたちに生きるためのヒントを与えてくれる場となることをめざします。

□基本構想に示された5つの活動方針と5つの場

- ① 大熊での学びを支える資料や情報を大切にする ← ツクリバ ミセバ
- ② 先人が積み重ねた知識に学び、わたしの経験を共有する ← マナビバ カタリバ
- ③ 他人を尊重し、仲間をつくる ← マナビバ ツクリバ
- ④ わたしたちの生活や暮らす地域を豊かにするための一歩を踏み出す ← タマリバ ミセバ
- ⑤ 一人でいても誰かと一緒にいてもいい、みんなの居場所をつくる ← カタリバ タマリバ

□5つの活動方針と5つの場の相関図

